

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	きささげ夢プロジェクト
事業主体 (連絡先)	筑北村 教育委員会子ども支援課 電話：0263-67-1161
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,257,623円 (うち支援金：943,000円)

#### 事業内容

- 被災地訪問
  - 訪問準備  
聖南中学校生徒が、校内・保護者・地域への情報発信と協力の依頼
  - 南三陸町へ聖南中学校生徒、教職員、保護者、きささげ応援団等が参加 ⇒ 帰村後 報告会を実施
- 国際交流
  - 交流準備 七宝焼き、木組みの製作
  - ドレスデンフィルハーモニック児童合唱団のコンサートと交流



【被災地訪問の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ①地域住民の学校教育参加の広がり
- ②地域内外の交流の増

#### 事業効果

- 被災地訪問団の増加 H26 71人 ⇒ 65人  
生徒数減もあり増加はしなかったが、準備にかかわった地域の方は多数となった。
- 被災地訪問報告会参加者の増加  
H26 120人 ⇒ 160人  
被災地への関心、生徒の願い実現への協力の意識が強くなった。この報告会を通してその後坂井小学校と南三陸町の小学校の交流活動が行われた。
- 国際交流への地域住民の参加者  
20人予定 ⇒ 31人 コンサートには300人以上
- きささげ応援団員の増加  
H27当初31人 ⇒35人

#### ※自己評価 【B】

##### 【理由】

- ・南三陸町への訪問は、訪問参加者増はなかったが、準備や発表会への参加者は大きく増加し地域住民の被災地に関わろうとする意識とそれに取り組む学校へ協力しようという意識の高揚になった。
- ・国際交流をきささげ応援団の支援を受け行ったことで、生徒と地域住民との交流増となった。

#### 今後の取り組み

- ・聖南中生徒による南三陸町との交流は、本年度から生徒の自主性を大切にし、それを支える形で保護者、きささげ応援団を中心とした地域住民の協力と参加が広がった。引き続き、準備・訪問・報告発表を実施し、筑北村の地域住民の学校教育への参加と地域のつながりの大切さや防災意識を高める契機としていきたい。
- ・国際交流で培った交流することのよさを大切にし、さらに交流活動を学校内外に広げていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある